

平成26年度 事業報告書

平成26年 6月 1日から平成27年 5月31日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

1. 事業の成果

当年度は、(1)聴覚障害者のスキー技術の向上を図る為、第11回西日本ブロックスキー講習会を実施、第17回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会を開催しました。(2)聴覚障がい児のスキー普及活動の促進を図る為、昨年に続きスキー教室への講師を派遣しました。(3)聴覚障害者へのスキー啓発・広報を目的として、個人啓蒙活動を活性化しました。以上の3点を重点課題として下記の事業に着手しました。

(1)聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業について「第12回西日本ブロックスキー講習会」は昨年に続き、石川県白山一里野温泉スキー場で開催しました。当講習会は、西日本のデフわんぱくスキー教室を兼ねており、西日本在住のスキー愛好者と、子どもも含め昨年に続き多くの参加者がありました。特に昨年参加された子どものほとんどが今年もリピート参加され、当会指導員の熱心な指導によりスキーの面白さ、楽しさを享受できるようになりました。指導員10名で大人の講習受講者24名、子どもの受講者12名を指導しました。全日本スキー連盟公認バッジテストおよびジュニアバッジテストを実施し、11名がそれぞれの級に合格しました。2年連続で白山一里野スキー場を利用し、参加者にも好評なことから次年度も同じ場所で実施する予定です。

聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業のもう一つ「第18回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会」を、昨年に引き続き、西日本地域からの交通の便が良い長野県Mt乗鞍スキーリゾートで開催しました。今回も天候に恵まれ、2月の豊富な積雪と締まった雪質の良い条件で開催でき、選手達は日頃の練習成果を存分に発揮できたのではないかと思います。反省点は、開催場所が昨年と同じことから、スキー場との交渉時に昨年と同じ条件でお願いしたはずでしたが、内容に行き違いがあり、本来ならば競技バーンの囲いを実施し安全面に最大配慮した大会運営をすべきであるところ、一般スキーヤーが滑っている中で通常のスキーバッジテストと同様の条件で実施せざるを得なかった点でした。幸い事故も無く無事終了しましたが、次年度はこの反省点を踏まえて運営面を改善していきます。

(2)聴覚障がい児を対象としたスキー教室について 8回目のデフわんぱくスキー教室は、同時開催のスノーボード教室と合わせて80名近くの参加があり、過去最大規模の開催となりました。今回は貸切バスの法改正による大幅な値上げに伴い参加費も大幅にアップしたため参加者数減少が心配されましたが、昨年2月にNHK「ろうを生きる、難聴を生きる」で放送された影響のほうがはるかに大きく、20名以上の大幅な参加者増となりました。スタッフ数は予定通りの人数でしたが、これまでの経験によりコンパクトな運営体制および予め整備した緊急連絡網体制により、また天候にも恵まれて、大きなトラブルもなく無事に終了しました。東京都スキー連盟加盟東京デフスキークラブの協力を得て、スキーバッジテスト・ジュニアバッジテストの両方を実施し、受検者57名中54名が合格しました。多くのリピート参加により年々参加者のスキー技術レベルが向上し、より上のランクのバッジテストに挑戦する児童・生徒が増えており、スキーの面白さ、上達することの喜びを経験させる数少ない機会を提供する場となっています。

ろう学校スキー教室派遣事業について 昨年に引き続き、神戸聴覚特別支援学校スキー教室は兵庫県アップ神鍋スキー場で開催され、高等部の生徒20名に対し6名の講師を派遣しました。6グループに分かれて講習を実施し、レベルに応じて様々な練習を取り入れた結果、最終日には全員が滑れるようになりました。また、中学部のみで開催となった川崎市立豊学校スキー教室は、長野県富士見パノラマスキー場にて生徒13名に対し3名の講師を派遣しました。今回は川崎市の公費によるスキー教室で近隣の中学校との共催でしたが、豊学校のみ当指導員会へ指導派遣依頼がありました。こちらも3日間で、それぞれのレベルで全員が滑れるようになり、たくさんの笑顔があふれました。両校とも、子どもたちはスキーを通じて自然に触れ合い、「感動」と「滑れた達成感」を見せてくれました。それぞれに仲間との楽しい思い出を作ることができ、指導した私たちにとっても、大変収穫の多いものになりました。

(3)聴覚障害者へのスキー啓発・広報の活動について スキー教室リーフレットを、ろう学校やろう者コミュニティに配布するだけでなく、職場・友人に積極的に手渡し、対話を重ねました。DVD映像も見てもらい、新たなスタッフ・子どもの参加に繋がりました。(財)全日本ろうあ連盟スポーツ委員会認定の技術スキーサイン用語(63単語)は、引き続き当会ホームページで公開しています。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
スキー指導に関する事業	第8回 デフわんぱくスキー教室	1月10日 ～1月12日	長野県 菅平高原スキー場	30名	全国の聴覚障害児の 78名	4,107
同上	第12回 西日本ブロックスキー講習会 (兼デフわんぱくスキー教室)	1月10日 ～1月12日	石川県 一里野温泉スキー場	10名	西日本の聴覚障害者と ろう児49名	1,166
同上	神戸聴覚特別支援学校 スキー教室派遣	2月 1日 ～2月 3日	兵庫県 アップ神鍋スキー場	6名	神戸聴覚特別支援学校 高等部20名	0
同上	川崎市立豊学校 中等部スキー教室	2月22日 ～2月24日	長野県 富士見パノラマ	3名	川崎市立豊学校 中等部13名	0
大会開催に関する事業	第18回 全日本聴覚障害スキー 技術選手権大会	2月20日 ～2月22日	長野県 Mt乗鞍スキーリゾート	8名	全国の聴覚障害者の 45名	135
聴覚障害者への スキー啓発・広報	コミュニケーションメディア を通じ不特定多数へ活動紹介、総会の開催	通年	事務所	6名	不特定多数	104